

平成 30 年 月 日

臨床研究協力をお願い

研究名・・・MRI による癒着胎盤の診断精度の検討（後ろ向き研究）

対象・・・2007 年 1 月～2018 年 12 月の期間に、分娩前に当院で MRI 画像を撮像し、当院で分娩を行った前置胎盤の方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究期間： 承認日（2019 年 3 月 28 日）～2020 年 3 月 31 日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 放射線医学講座 瀬古 安由美

目的・概要・・・前置胎盤は分娩時の大量出血や癒着胎盤のリスクとなり得る事が知られており、高次医療施設での分娩管理が必要とされます。当院では、前置胎盤症例は、分娩前に MRI にて、隣接臓器への浸潤/癒着や、子宮筋層との関係など臨床的に癒着胎盤を疑わせる所見の有無を事前に検討し、安全な分娩の準備をしています。

本研究の目的は、術前の画像評価と、実際の分娩時の臨床所見（癒着の有無、胎盤剥離の困難度や出血量）とを後方視的に対比検討し、MRI の診断精度を評価することです。MRI の事前の診断精度を明らかにし、分娩前に、周産期管理の一助となり得る正確な情報を提供することで今後の診療にさらに貢献できると考えています。

方法・・・対象の方の分娩前の MRI 画像、カルテに記載された、検査情報や妊娠経過、分娩時の経過を使用して研究・評価を行います。新たに追加検査や、追加費用が発生することはありません。

効果・・・分娩時経過と分娩前 MRI を対比させることにより、癒着胎盤の分娩前の診断精度を向上させることが期待できます。

副作用・危険性・不利益など・・・追加検査は行いませんので、この研究による身体への不利益はありません。

個人情報の保護・・・個人情報は、匿名化され、個人を特定できないようにします。研究目的以外では使用しません。

同意および撤回・・・研究協力を辞退されたい方、ご質問のある方はご連絡ください。

費用(医療費)・・・追加の医療費は発生しません。

連絡先・問い合わせ先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 放射線医学講座

研究代表者 瀬古 安由美

Tel: 077-548-2288 FAX: 077-548-2406

E-mail: ayumis@belle.shiga-med.ac.jp